



アイズ

Vol. 6 (2015.4)
住所：倉吉市天神町233-1
Tel・FAX 0858-26-0230
E-mail fujitakahiro@hb.tp1.jp
http://mei25kami6sakura.ne.jp/www/
倉吉市議会議員 藤井隆弘

藤井たかひろ

〔アイズ〕目線、合図・相図、愛ず

発行：藤井たかひろ後援会事務所

討議資料

3月議会を終えて

平成27年度当初予算を中心とした3月議会が終了しました。平成26年度一般会計補正予算、平成27年度一般会計予算及び特別会計予算とも原案のとおり採決されました。

地方創生（人口減少対策・地域の活性化）、学校や保育所の再編問題等々課題が山積している倉吉市。一方では、鳥取看護大学の4月オープン、中心市街地活性化の推進等元気の出る話題もあります。倉吉をもっと元気にするための今議会、一般質問はトップバッターでした。「地方創生と倉吉」「開かれた、市民にわかりやすい市政」「総合教育会議」の3つの柱で質問しました。

議案質疑では、平成26年度倉吉市一般会計補正予算と、平成27年度倉吉市一般会計予算のうち8事業（歳入、人件費（任期付）、職員管理、協働のまちづくり、鳥獣被害総合対策事業、打吹公園管理、防災倉庫建設事業、非常備消防）の9点について質疑しました。

紙面の関係で一般質問は要点を掲載します。議案質疑に関しては、「旧明倫小学校円形校舎等除去事業」「協働のまちづくり」「鳥獣被害総合対策事業」「打吹公園管理」についての要点を掲載します。もう少し詳しいものはホームページに載せています。また、倉吉市のホームページ上で会議録が後日掲載されます。

3月議会報告 <一般質問>

1 地方創生と倉吉

1 『質問』 倉吉市の現状と地方創生について市長の認識は？

『市長答弁』 大幅な人口減は事実。活力ある倉吉とするため、危機感を持って取り組まなければならない。

2 『質問』 倉吉版総合戦略について

○国の「ビッグデータ」等の活用は？ ○策定期間は？

○倉吉未来いきいき創生本部 ○市全体で取り組むまちづくり

○国の人的支援を依頼する予定は？

『市長答弁』 手持ちのデータや4月以降送られてくる国のデータも活用していきたい。総合戦略策定期間は10月をめどにしたい。市役所全体としての取り組みを図り、倉吉未来いきいき創生本部で方向性をまとめ、具体的な施策としていきたい。人口減対策は、市役所だけでなく、「産官学金労言」を含めた総力戦でやっていかななければならない。

国の人的支援依頼は現在のところは考えていない。県版のコンシェルジュ等を通じ、国や県の動向も収集・活用していく。

『藤井』 自分たちのまちづくりは自分たちでやるという心意気が一番大事。市職員がまちづくりについて話し合ったことは意義があった。倉吉未来いきいき創生本部での取り組みや成果を活かして欲しい。

3 『質問』 倉吉アクションプランについて

○現時点の「目玉事業」は？ ○総合計画と地方創生、総合計画作成スケジュールは？

『市長答弁』 市版総合戦略には、数値目標・指標を設定している。総合戦略そのものがアクションプランとなっている。目玉は、これから考えていかななければならない。当然、子育て支援、産業振興等が入ってくる。

総合戦略はターゲットが人口減対策で特化した計画。関連している部分もあり、それを総合計画の中に入れていく。総合計画は平成27年度中の作成となる。

『藤井』 人口減対策、結婚・子育て支援、働く場の確保、移住・定住の施策に倉吉ならではのプラスワンを入れる。逆転の発想、例えば、耕作放棄地、鳥獣被害、空地・空家等をビジネスチャンスにすることもできると考える。この面でも検討をお願いする。



<一般質問手話通訳実施>